

2025（令和7）年度 第2回理事会議事録

日 時：2025（令和7）年3月12日（水）～3月14日（金）

方 法：電子メールによるメール会議の形で行なわれた。

出席者：寺田純雄（理事長）、大和田祐二、尾崎紀之、仲嶋一範、福田孝一（以上、常務理事）、大内淑代、岡部繁男、海藤俊行、阪上洋行、佐藤 真、島田昌一、千田隆夫、徳田信子、野田泰子、菱川善隆、藤山文乃、宮田卓樹、吉田成孝、和中明生（以上、理事）、八木沼洋行、渡辺雅彦（以上、監事）

I 審議事項

1. 議事録署名人の件

定款第39条に基づき、八木沼洋行 監事と渡辺雅彦 監事に依頼することが確認された。

2. 献体解剖倫理指針について

篤志解剖全国連合会（全連）よりご依頼があり、人体解剖実習で教育を受けるすべての医療系学生が適切な倫理教育を受ける必要性を担保するために、全連、日本篤志献体協会と共同で、倫理 教育マニュアルを作成することになりました。篤志献体協会の坂井先生に原案を作成していただき、全連、献体協会の役員、本学会常務理事会、倫理委員会/利益相反委員会、解剖体委員会、教育委員会、医療専門職教育委員会にて検討いただき、さらに頂いたご意見を反映した献体解剖倫理指針が添付の決定稿の提案がなされた。

協議の結果、下記2点を修正することで全会一致にて了承された。

- ① 実習期間中だけでなく「将来、医師になっても献体解剖で培った倫理観を失わないようにする」というような内容を、一言記載する。
- ② (5)①の1行目の「客観的にみる」は①の表題に合わせて「客観的に見る」に修正する